

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	手稲区土木部維持管理課(011-681-4011)
-----	-------	-----------	---------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①前田森林公園 ②山口緑地 ③星置公園 ④明日風公園	所在地	①手稲区手稲前田591外 ②手稲区手稲山口582外 ③手稲区星置2条1丁目 ④手稲区明日風2丁目
告示年月日	①昭和62年8月1日 ②平成11年3月31日 ③平成1年3月31日 ④平成22年3月31日	面積	①597,258㎡ ②444,280㎡ ③61,800㎡ ④47,569㎡
公園種別	①総合公園 ②都市緑地 ③④地区公園		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	上記公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	①カナル、壁泉、展望ラウンジ、野球場、球技場、パークゴルフ場他 ②パークゴルフ場(72ホール)、駐車場(380台、身障者9台)、クラブハウス、管理棟 ③テニスコート、野球場 ④テニスコート、パークゴルフ場、徒渉池		
2 指定管理者			
名称	公園緑化協会・ていねグリーンコンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会、(株)スペース・デザイン工業、マルミプラス(株)、(株)横山造園)		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募		
	非公募の場合、その理由		
指定単位	施設数: 4		
	複数施設を一括指定の場合、その理由: ①公園管理事務所を有しない公園と有する公園をグループ化し、公園管理上の支障をなくす。②公園管理上の経費及び効率化(環境負荷の低減等)の面から、比較的近接している公園をグループ化した。		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(野球場、球技場、テニスコート、パークゴルフ場)運営(利用料金制度)、緑化普及啓発業務		
3 評価単位			
	施設数: 4		
	複数施設を一括評価の場合、その理由: 同一の指定管理者で維持管理しているため。		

II 令和2年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定		A	B	C	D
	<p>前田森林公園、山口緑地、星置公園、明日風公園においては、以下の基本方針に基づき管理運営にあたった。</p> <p>【1】平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。</p> <p>【2】関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。</p> <p>【3】資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。</p>	<p>今年度は管理運営の基本方針をスタッフ間で共有し適正な管理運営が遂行できた。</p> <p>平等・公平な利用に関するスタッフ教育を行い利用者対応のほか利用機会などを確保するため、施設等の情報をスタッフ間の格差がないように適宜ミーティングなどで情報共有し利用者への発信に努めた。</p> <p>関係法令・条例の遵守のため、不法行為、迷惑行為等に対する巡回指導や注意看板の増設により、快適な利用環境の維持に努めた。</p> <p>安心・安全の確保のため施設のコロナ対策を徹底し、利用者の満足度向上のためアンケート調査や市民の意見要望を受けた際には、札幌市の意見も仰ぎながら、適切な維持管理業務を進めることができた。</p> <p>資源・施設の長寿命化のため、法定点検以外にも定期点検を行い、直営で対応できる修繕を積極的に行った。</p>	基本方針に基づき適切に管理運営されていたと評価する。			

【4】コミュニティ活動の拠点の一つと位置づけ、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。

【5】子どもをはじめとする来園者が、豊かな自然にあふれ、自由な発想で遊ぶことのできる公園環境を提供する。

【6】地域の健康づくり・運動拠点としての価値を向上させ、公園の利活用促進につなげる。

コミュニティ活動の拠点としては、コロナにより外部団体との連携機会が減少したが7月以降に活動を再開した団体と、園内自然素材を利用した工作体験と自然観察会を定期的に共催で開催した。また当協会主体のクリーンボランティアも参加者増加により、市民活動の場の定着、市民協働の推進を図ることができた。

豊かな自然の中での散策を楽しんでいただくため、樹名板を130枚追加したほか、園内の植物や野鳥等の情報をパネルで掲示し、市民が自然の知識を深める機会づくりをした。

ウォーキングマップとウォークラリーカードを継続して作成・無料配布した。リピーター確保及び市民の健康づくりにつなげるとともに、利用者と公園スタッフとのコミュニケーションづくりにも一役かっている。

有料運動施設はテニスコートの補修と野球場の重機を入れた整備を行い利用環境の向上、利用者サービス向上を図った。

有料運動施設とパークゴルフ場はコロナの影響で6月1日から供用開始となったが、感染防止対策を徹底し利用者に安心してご利用いただいた。

冬期は園内に本格的なクロスカントリースキーコースを設置し、メンテナンスも2回/日行うなど、コースクオリティの維持向上に務め、冬の健康維持の場として多くの市民に活用いただき、今年度の利用者は過去最高となった。

【7】公園の特徴的な景観を重視した管理をし、地域の魅力としてアピールする。

【8】地域の防災拠点として、災害に対する万全の備えを進め、また防犯の視点から日常の管理を強化する。

600mのカナールとポプラ並木、3haの芝生広場など特徴的な景観を維持管理し四季折々に情報発信を続けた結果、テレビや動画のロケ地、コンテスト用の写真撮影地として多く活用いただいた。

防災拠点として機能するようスタッフ研修を行い、非常事態時の指揮命令系統を明文化し共有した。また年2回の消防訓練と毎年開催の普通応急手当講習には新規スタッフのほか資格更新スタッフに受講させ、緊急時の対応に備えている。

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

▼ 平等利用に係る方針

地方自治法第244条第3項の規定から導き出される基準を遵守し、信条、性別、社会的身分、年齢等により、合理的な理由なく利用を制限する等により平等利用が妨げられることのないよう、すべての利用者に対して公正中立な対応をすべく、全スタッフへの教育を徹底する。特に配慮が必要な障がい者に対しては、障害者差別解消法の趣旨に則り、公園施設において不当な差別的取扱いをしないよう、また、施設利用時の要望・申し出に進んで対応し、真摯な対応で「困りごと」の解消に努める。

▼ 平等利用の取組状況と実績

- ・公園スタッフ採用時に、マニュアルを元にした教育の徹底、正規職員が講師となった研修会等で指導を行った。
- ・公園内掲示物は、ユニバーサルデザインの視点を持ち、札幌市の「広報に関する色のガイドライン」を参考に「見やすい・読みやすい」案内看板の作成を行った。
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の情報が更新される都度、迅速かつ広範囲な情報発信のため、公式ホームページとTwitterを利用した。
- ・ウェブ利用者以外への対応として、園内掲示板や地域施設に掲示するなど、情報格差のないよう配慮した。
- ・ホームページは、ウェブアクセシビリティ試験によるレベルAA準拠に努め、試験結果をホームページ内に掲載している。
- ・利用者への注意指導として巡回指導と看板掲示(有料施設の不正使用、火気使用行為の禁止、野生動物への餌付け行為、犬の放し飼いや糞の不始末、ゴミの不法投棄、ボール遊びマナー、夜間の公園利用等)を継続して行った。ただしバーベキュー広場はコロナ対策のため閉場となり例年の不正使用禁止掲示及び巡回指導は行わなかった。

4月雇用時、全スタッフにマニュアルを元にした研修を実施し、また外部の接遇検定への参加などにより高水準の利用者対応を目指し、平等かつ親切な対応を心がけ、アンケートでもスタッフへの満足度が高い結果を得ることができた。

また情報発信の際にはユニバーサルデザインを考慮し「見やすい」「わかりやすい」表現を心がけた。不正利用及び危険行為等への巡回指導や掲示物の設置、受付での丁寧な説明等で対応した。特に今年度はコロナ禍により不安を抱えた利用者が多かったため、公園での取り組みの説明、施設の消毒体制などに努め、どなたでも安心して利用いただける環境をつくることができた。

平等利用の取組では、必要な研修を実施するとともに、不正利用及び危険行為等への巡回指導や注意喚起の掲示を行っており適切に対応したと判断している。

また、掲示物については、見やすくわかりやすい表現にするなどユニバーサルデザインに配慮した工夫をしていたと評価できる。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)の認証を受けて構築しているEMSに基づき、地球温暖化対策環境配慮の推進に努めた。

▼ 地球温暖化対策

CO2発生の抑制として、公園維持管理に伴う光熱水の節約に努めた。電気使用量削減については、壁泉カナルポンプ施設やサンクガーデン水盤のタイマー調整による施設運転の合理化、施設の照明の一部をLED照明へ交換等実施した。

▼ 環境配慮の推進

公園の維持管理に伴う環境負荷の軽減として、化学農薬を極力使わない植物管理、一般ごみの削減、急激な環境負荷の少ない緩効性肥料の使用、再生紙の使用など、環境に配慮した運営を行った。また、CO2吸収・蓄積に寄与する取組みとして、園内植物残渣のリサイクルに努めた。

電気使用量は、コロナ禍による壁泉噴水の稼働中止や合理的な園路灯タイマーの設定など、節電に努めた結果、前年比89.2%となった。

水道使用量はコロナ禍によるバーベキュー広場の閉鎖、壁泉噴水の稼働中止があり、また施設開放が6月からとなったことも影響し、前年比60.8%となった。

農薬の使用については札幌市に報告の上、使用範囲を限定し実施し、環境負荷軽減ができた。

一般ごみは前年同様、トイレトーパーは札幌市や道内市町村の古紙及び紙パックを原料としたものを導入し、維持管理経費の削減と、環境負荷軽減に努めた。

植物残渣のリサイクルでは処理樹木をチップ化し園内へ還元したほか、伐採木を市民へ無料配布し好評を得た。

全体を通して、環境に配慮した運営ができた。

地球温暖化対策及び環境配慮の推進として、様々な取組を行い積極的に環境配慮に努めていたと評価できる。

特に植物リサイクルとして、処理樹木をチップ化して園内へ還元している取組は、環境負荷の軽減のみならず、樹林地の生育基盤の改善にもつながっていると考えられる。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 統括責任者、統括責任者代理を配置した。
- ▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。
- ▼ 仕様書のとおり職員を配置するため、臨時職員(維持管理10名、受付5名、パークゴルフ場受付18名)の採用を行った。
- ▼ 当初の研修計画に基づき、職員研修(コンプライアンス研修、危機管理研修、管理運営事務研修、接客・サービス研修、普通応急手当講習、消防訓練等)を行った。

スタッフ研修は計画どおり実施することができた。また管理運営レベルの向上と有資格者による作業のため、スタッフの資格取得に努めた。

適切な管理運営組織の下、良好に管理運営されていたと評価する。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼ 管理技術向上のため、業務に必要な資格取得をはじめ、安全作業手順、機械運転操作、園内車両走行、剪定実技など公園維持管理安全作業に係る実地研修等を実施した。

▼ 利用者アンケートの結果や受付窓口寄せられた要望を元に利用者のニーズに対し迅速かつ柔軟に対応し、また、管理内容を見直し園内環境の改善に努めた。

▼ 安全管理向上のため、毎朝のブリーフィングで作業内容に合わせたKY活動を行い事故防止に努めた。また他公園等の事故報告・苦情要望事項を共有し、無事故のための手順や問題解消のためのミーティングを実施した。

▼ 全職員対象に普通応急手当講習Ⅰを実施した。特にパークゴルフ場受付スタッフは高齢者対応が多くAEDの使用もあることから、再講習期限を待たず全員普通応急手当講習を実施している。また応急手当普及員を配置することで有事に備えている。

▼ 年2回の消防訓練を実施し、火災のみの場合と地震からの火災を想定し実施することで、利用者の避難経路や手順を再確認し、有事に備えている。

▼ 利用者サービス向上のため、コメントを添えたアンケート結果を休憩所に配架し閲覧可能としている。また園内植物(スプリングエフェメラル、サクラ、フジ等)の開花情報をホームページやTwitterに掲載するとともに、円滑な案内ができるようスタッフに周知、開花スケジュールと開花エリアマップ、園内の野鳥一覧等大型パネルの掲示により情報提供に努めている。

管理に必要な資格取得により有資格者数が増加し作業技術の向上と効率化を図った。

前田森林公園パークゴルフ場コース状況に関し利用者からの改善要望があり、9月以降、多少の利用制限を掛け管理内容を見直し対応した結果、10月には良いコース状態となった。今後も利用者の理解と協力を得て管理して行きたい。

安全管理については、安全衛生教育と毎日のKY活動によりスタッフの安全に対する意識及び技術の向上に努め、無事故で今年度を終了することができた。

利用者が体調不良で倒れた際は救急車誘導など迅速に対応でき、後日スタッフ対応が良く安心できたと称賛をいただいたことは、普通応急手当講習の成果と考える。

利用者サービスの向上に関しては、公園を楽しむためのこまめな情報提供や動線を考慮した案内看板増設を継続し、園内が分かりづらいなどの苦情もなく今年度を終えることができた。

前田森林公園のパークゴルフ場コースについては、一時期芝の生育不良が見られたが、その後適切な管理に努め良好な状態に回復させた努力を認める。

体調不良の利用者への対応は、救急隊の誘導など迅速に対応できたと評価できる。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

以下の業務について、第三者に委託し、管理・監督を適正に行い業務を遂行した。

- ①前田森林公園
 - ・管理事務所等機械警備業務
 - ・昇降機点検業務
 - ・管理事務所等消防設備点検業務
 - ・展望ラウンジ等自動ドア保守点検業務
 - ・床・硝子清掃業務
 - ・前田森林公園他受水槽清掃業務
 - ・灯油600L地下タンク漏洩検査業務
 - ・前田森林公園他遊具保守点検業務
 - ・前田森林公園除雪業務
 - ・自家用電気工作物保安管理業務
 - ・一般事業系廃棄物処理業務
 - ・カン・ビン等処理業務
 - ・産業廃棄物処理業務
 - ・トイレ維持管理業務
 - ・カラスの巣撤去及び子ガラスの保護業務
- ②山口緑地
 - ・管理棟等機械警備業務
 - ・管理棟消防用設備点検業務
 - ・自動ドア保守点検業務(管理棟、クラブハウス)
 - ・遊具保守点検業務
 - ・産業廃棄物処理業務
 - ・受水槽清掃等業務
- ③星置公園
 - ・遊具保守点検業務
 - ・トイレ維持管理業務
 - ・産業廃棄物処理業務
- ④明日風公園
 - ・遊具保守点検業務
 - ・産業廃棄物処理業務

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 3月17日	前田森林公園他3公園・緑地の運営に関する札幌市への報告、協議 1. 管理業務の実施状況 2. 各有料施設の利用状況 3. 利用者からの意見・苦情等 4. 公園利用促進事業実績 5. 管理運営上の問題点、改善提案
<協議会メンバー> 札幌市手稲区土木部 事務係、公園緑化係 (株)スペースデザイン工業、マルミプラス(株)、(株)横山造園、(公財)札幌市公園緑化協会	

第三者への委託業務に関しては、全て札幌市内の企業に委託し、計画に沿って適切に履行できた。

委託業務について、すべて札幌市内の企業に委託したことは評価できる。

年1回開催の運営協議会では、管理運営の報告と、施設等の修繕や改善について報告と提案をし協議の上方向性を確認できた。またその他、日常的に札幌市と連絡を取り、状況により指示を仰ぐ等、調整を図ることができた。

協議会での協議内容を参考にし、市民サービスや管理水準の向上に努めていただきたい。

<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分しており、現金等の取扱いについては点検、調査を行っている。事務局経理事務担当者による現金出納簿の確認、月末締め現金出納簿と売上金口座入金状況の確認を随時行っている。 ▼ 団体の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。 ▼ 現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。 	<p>札幌市の検査・監査には適切に対応した。また、改善が必要な事項等については、各公園・施設のマネージャーを通じ、公園・施設の担当者へ周知徹底を図った。</p> <p>不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。</p> <p>不正経理等の事故は発生していない。</p>	<p>財務については、適切に管理されていたと評価できる。</p>
<p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、スタッフ研修を実施している。 ▼ 要望・苦情が出た都度スタッフと情報共有し、その対応記録と他公園での要望・苦情も収集し、ファイリングと回覧によって情報の周知徹底を図り、同様の事柄が発生しないよう対策している。 ▼ 市民、公園利用者からの要望、苦情等を集計して 【苦情・要望等の件数】 前田森林公園 称賛1件 山口緑地 称賛1件 星置公園 0件 明日風公園 苦情1件 	<p>利用に関する苦情等は、看板の設置や増設等により対応した。今後とも利便性の向上や施設案内を充実させるため、掲示物の充実を図りたい。</p> <p>明日風公園では公園周辺の路上駐車が問題になっており、看板のサイズ拡大など対応を図った。</p> <p>称賛については、利用者の体調不良等による救急搬送を公園スタッフが迅速に行ったことでの称賛であった。</p> <p>今後も即時対応、緊急時のスタッフ対応研修を継続する。</p>	<p>苦情・要望対応については、適切に対応できたと評価できる。苦情がほとんどなかったことは、維持管理はもとより利用者への真摯な対応が奏功したものと評価する。</p>
<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 主な記録は以下のとおり 巡視日報、EMS環境測定記録、EMS教育訓練記録、受水槽点検記録、作業機械点検簿、車両運転記録簿、遊具点検記録簿、防火点検記録簿、苦情等情報シート、ヒヤリハット事例集、月報、四半期報告書、年報、現金出納帳ほか法令点検記録 ▼ 指定管理期間の提案項目の履行状況を確認し、可能な限り実施するよう取り組んだ。 ▼ 市民対象のアンケート調査を実施した。アンケートの実施結果は休憩所に掲示し閲覧可能としている。 	<p>記録については適正に管理・保存・届出を行った。</p> <p>アンケート結果は誰でも閲覧できるように休憩所に掲示するとともに、スタッフ間でも情報共有し、自己評価も踏まえて公園利用者が求めているものを管理運営に反映できた。</p> <p>札幌市の業務・財務監査を適切に対応した。</p>	<p>業務に関する記録や帳簿等については、適切に管理されていたと評価できる。</p> <p>また、アンケート結果をスタッフ間で共有し管理運営に活かしている姿勢は評価できる。</p>

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金861円(令和元年10月3日発効、令和2年度据え置き)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出ている。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、届出、公開、周知した。 <p>▼ 安全衛生委員会を設置し、毎月1回、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園の担当課長がリモートワーク等により出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。</p> <p>▼ 維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。</p> <p>▼ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。</p> <p>▼ 公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。</p> <p>▼ 第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。</p> <p>▼ 女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けている。</p>	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実にを行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催(新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園単位で開催)、安全講習の実施等に取り組んだ。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">労働関係法令を遵守し適切に実施されていたと評価する。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">毎朝のKY活動やヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催など、積極的に労働災害防止に取り組んだと評価できる。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">安全衛生委員会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモートで開催するなど、安全な職場環境の実現に努めたと評価できる。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">雇用環境の維持向上に向けては、有給休暇や育児休業等の取得奨励、ノー残業デーの取組を行ったと評価できる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	労働関係法令を遵守し適切に実施されていたと評価する。				毎朝のKY活動やヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催など、積極的に労働災害防止に取り組んだと評価できる。				安全衛生委員会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモートで開催するなど、安全な職場環境の実現に努めたと評価できる。				雇用環境の維持向上に向けては、有給休暇や育児休業等の取得奨励、ノー残業デーの取組を行ったと評価できる。			
A	B	C	D																				
労働関係法令を遵守し適切に実施されていたと評価する。																							
毎朝のKY活動やヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催など、積極的に労働災害防止に取り組んだと評価できる。																							
安全衛生委員会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモートで開催するなど、安全な職場環境の実現に努めたと評価できる。																							
雇用環境の維持向上に向けては、有給休暇や育児休業等の取得奨励、ノー残業デーの取組を行ったと評価できる。																							

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D
	<p>【利用者の安全確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 利用者の安全対策として、作業時にセーフティコーンや作業看板を設置して作業を行うとともに、園内の利用状況に応じて作業日時を調整し危険な場所に利用者が入らないよう努め、園内での作業時、利用者が立ち去るまで作業機械を停止し事故防止に努め、車両はハザード灯を点灯し、速度20km/h以下で走行した。 ▼ 園内放送にて、熱中症や強風時の落ち枝に関する注意喚起を行い利用者の安全確保に努めた。 ▼ 強風に関し警報及び注意報が発表された際は単管バリケードで園路を一部通行止めにし、利用者の安全を図った。 ▼ AEDを配置し、全スタッフ対象で普通応急手当講習Ⅰを受講した。特に高齢者利用の多いパークゴルフ場スタッフは、更新時期に関係なく毎年受講している。 ▼ パークゴルフ場の危険球での事故防止のため、ネットの増設、注意喚起の園内放送を行った。 ▼ カラスの子育て時期には注意看板を設置、スズメバチは安全を確保した上で適宜直営で駆除したが、高所と樹木内営巣のものは委託業者に発注した。 ▼ 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、利用者の安全と安心を最優先に、スタッフのマスク着用、手洗い、うがい、毎朝の検温を実施。施設利用者が安心して利用できるよう作成した消毒マニュアルを元に、施設の換気、不特定多数が接触する可能性のある箇所を定期的にアルコールで消毒した。施設及び園内には利用者用の消毒液設置、注意ポスター等掲示、施設の一部(ベンチ、テーブル等)の撤去等を実施した。なお、札幌市からの指示・勧告等に応じて、公園の管理、利用形態等を適宜変更した。 <p>【市民サービス向上への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 高齢の利用者から要望が多かった和式便器から洋式便器への交換を管理事務所横の公衆トイレ1基分を実施した。 ▼ 受付窓口やアンケートでいただいた要望等は迅速に対処し、内容によってはコメントをつけ休憩所掲示板に掲示し回答を周知した。 ▼ パークゴルフ場では受付マニュアルの改訂を継続し利便性や受付の一層の効率化を図った。 ▼ 拾得物取扱マニュアルを作成し、拾得物及び遺失物の情報を管理事務所内で共有し、遺失者・遺失物の早期発見に努めることでサービス向上を図った。 ▼ コロナ禍における施設の利用方法についての問い合わせが非常に多く、電話や受付窓口にて情報提供を丁寧に行うなどの取組みとともに、公式ホームページやTwitterなどのメディアを利用した告知、園内掲示板への情報掲示を行い、感染予防対策を徹底することで、快適な利用環境の整備に努めた。 ▼ 利用者の要望に応え、ボランティア団体の協力を得て樹名板を新たに設置した。 ▼ 冬期は前田森林公園南側拡張区域駐車場の土日祝日開放のため除雪を実施し、ながめの丘(ソリ山)利用者への利便確保を図った。 	<p>利用者の安全対策は計画のどおり実施し、園内作業に伴う利用者の事故及び管理瑕疵による事故の発生はなかった。</p> <p>利用者の転倒等の事故、体調不良による救急搬送等が起きた場合は迅速に対応することができた。日頃から緊急事態に対する意識向上に努めたい。今年度はコロナ禍により大型イベント(ふじまつり、パークゴルフ交流大会等)を中止し、感染拡大防止に努めた。施設内でも利用者の滞留時間を制限するため一時的にベンチやアンケート台等の撤去、施設消毒等を行い感染拡大防止対策をした。</p> <p>市民サービス向上のため、受付窓口やアンケートでの要望・苦情に迅速に対応し、感謝の言葉をいただくことができ、公園管理運営、利用者サービス向上を図ることができた。</p> <p>連絡体制の確保、保険加入(施設賠償保険等)は、計画どおり行った。</p>	<p>利用者の安全確保に留意し、施設・設備等を適切に維持管理していたと評価する。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策として、施設内の利用制限や施設消毒を行うなど感染防止に努めたと評価できる。</p>

【連絡体制の確保、保険加入】

▼ 自然災害や事故等発生時に対応するため、緊急事態連絡体制を整えた。

▼ 保険については計画書どおり、施設賠償責任保険、レクリエーション保険、家財保険、任意自動車保険、食品営業賠償保険に加入した。

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

▼ 有料施設である野球場、球技場、テニスコート、パークゴルフ場は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開放予定を4月20日から6月1日に変更となり、11月20日の終了まで無事営業できた。

▼ 清掃作業については仕様書の水準かつ適宜実施した。

▼ カナールは春夏秋の年3回(市民協働)の清掃を行い、仕様書どおり管理を行った。

▼ 無料施設は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の施設の閉鎖又は開放期間の変更を行った。

●前田森林公園

- ・駐車場は5月2日から25日まで閉鎖
- ・バーベキュー広場・壁泉噴水の稼働を中止。
- ・自主事業では、子供用乗用遊具広場・更衣室の閉鎖(中止)。

●山口緑地

- ・山口東西エリア管理棟の開放日が4月20日から6月1日に変更。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策で施設の開放日や利用内容等の変更に伴い維持管理スケジュールを柔軟に調整し業務を遂行した。

カナールは計画どおり年3回の清掃を実施した。今年はコロナ対策により春は職員のための清掃、ボランティア募集は夏・秋2回とし、市民と交流を図りつつ公園維持管理作業を協働で実施することができた。

樹木管理では、直営で積極的に危険木・枯損木の伐採や高木の枯れ枝等の除去を実施し、利用者の安全確保に努めたと評価できる。

さらに、強風時において、落ち枝のおそれが高い区域への通行止めを行うなど、積極的に利用者の安全確保に努めたと評価できる。

●明日風公園

- ・徒渉池の稼働を中止、無料パークゴルフ場は開放日を4月29日から6月1日に変更
- ▼ 公衆トイレは仕様書のとおり開放した。
- ▼ 展望ラウンジ2階の食堂売店は6月1日より営業し、前田森林公園パークゴルフ場クラブハウスの食堂売店はバーベキュー広場の閉鎖等に併い札幌市と協議の上、営業を取りやめた。
- ▼ 遊具他施設や設備保守点検を仕様書どおり実施した。
- ▼ 施設の点検等の業務は、必要に応じ専門業者へ委託し実施した。

▼ 各公園では以下の修繕を委託にて行い、施設利用に支障が出ないよう維持管理に努めた。また金額が20万円を超える修繕については、事前に札幌市と協議し対応いただいた。

【前田森林公園】

野球場マウンド他修繕、公衆トイレ関係修繕(ハイタンク、トイレ手洗いバルブ、システム電動バルブ、ボールタップ)、西側門扉溶接加工補修、バーベキュー広場炭捨箱蓋修繕、クラブハウスシャッターSK錠交換、事務所排水管修理、カナル脇園路舗装段差解消補修、臨時売店水抜き栓修理工事、管理事務所横男子トイレ洋式化

【明日風公園】

公衆トイレ引きハンガー(ドア)交換修繕、鋼鉄複合遊具ネット修繕、幼児用ブランコバケットシート交換修繕、ターザンロープ2基交換修繕

【山口緑地】

加圧給水ポンプ漏水修理、井戸ポンプ配管修理、東コースクラブハウス屋外コンセント修繕、西エリア管理棟屋上防水塗装部分FRP塗裝修繕、西コース水飲台及び散水栓用止水栓修繕

▼ 草刈は伸長状況を観察した刈込みにより効率的な管理に取り組んだ。

▼ パークゴルフ場の芝生管理は、緩効性肥料と刈草による窒素循環を組み合わせた芝生管理により、効率化・低コスト化、環境配慮型の維持管理を図った。前田森林公園パークゴルフ場は8月の高温時にコースの芝生の状態が悪化し市民より改善要望をいただいたため管理内容を等再検討し灌水等の作業時間を設定し良好なコースに戻した。

▼ 山口緑地パークゴルフ場東コースは8月下旬に井戸ポンプ及び井戸配管の破損により、札幌市による修繕が行われた。その間は水タンクでの灌水も併せて実施していただいた。

▼ 樹木管理は、高所作業車を使用し枯損木や危険枝を処理し、健康な樹林地管理に努めた。

▼ 札幌市貸与備品管理については、施設の鍵も含め3月に点検を実施した。また、作業機械類については、部品を購入して直営で修繕し、経費節減を図った。

▽ 防災

▼ 今年度の防災計画を策定し手稲消防署に届け出るとともに、6月と11月に消防訓練を実施した。11月は「大規模地震の影響で火災が発生」と、災害の想定を広げた訓練を実施した。

▼ 消防設備点検を専門業者に委託し年2回実施した。点検結果は手稲消防署に提出した。

▼ AEDを配備するとともに、防災関連必要備品の常備、期限切れ等を確認し必要に応じて交換した。

▼ 自然災害や事故等の発生時に対応するため、緊急事態連絡体制を整えた。

修繕に関しては、早期対応に努めることで施設利用への支障を最低限に抑え、可能なものは直営で行い、修繕が困難な場合のみ専門業者に委託し、管理コストの削減を図ることができた。

緑地管理に関しては、生物多様性に配慮し野鳥の営巣地の草刈エリアについては、作業回数や時期を調整し管理に努めた。

各パークゴルフ場の芝生管理は、灌水を整備日及び閉場後、利用者に支障がないよう行っていたが、前田森林公園パークゴルフコースの芝生損傷が顕著となり、利用者からの苦情もあったことから、管理作業のため利用規制を設け対応した。10月には良いコース状態に戻すことができ、今後も利用者のご理解とご協力を得て管理運営を行ってきたい。

樹木管理は高所作業車を使用し、高木の枯損枝・危険枝の処理を行った。また枯損木や危険木を伐採し、利用者の安全と健全な樹林地管理を図ることができた。

札幌市貸与備品に関しては、随時台帳を整理した上で年1回の確認を行った。

防災訓練及び消防設備点検を予定どおり実施した。11月には災害の想定を広げ、複雑な初期対応など、通常よりも内容の濃い訓練を継続実施することができた。

防災については、防災訓練や消防設備点検を実施し、適切に取り組んだと評価できる。

(4)事業の計画・実施業務	▽ 近隣教育機関に関する学習機会の提供業務		A	B	C	D
	<p>①前田森林公園</p> <p>▼ 札幌市立前田北小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内採取のエゾアカガエルの卵を提供し、3年生2学級の環境教育を支援。ただしコロナにより園内で2回実施予定の総合学習は中止。 <p>▼ 札幌市立稲陵中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園での職業体験受入(コロナにより中止) <p>▼ 北海道札幌高等養護学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の職場研修受け入れ(12名) ・授業で制作した製品(磁器)販売の販路として当該公園売店を提供。作品は買い取り制で、生徒は授業の一環として検品・納品・事務所との金銭授受、不定期に製品の売れ行きを確認。 <p>▼ 北海道科学大学 未来デザイン学部</p> <p>「+PIT (Professional Innovation Team)」の「手稲歩く観光・教育研修ルート創造プロジェクト」のHUSpectacle-手稲行列-の場を提供。また地域と公園の歴史概略を作成しデータ提供。</p> <p>②星置公園</p> <p>▼ 北海道札幌稲穂高等支援学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の職場研修受け入れ(12名) 	<p>例年受け入れをしている前田北小学校の総合学習と稲陵中学校の職場体験は、コロナにより中止となったが、今年度も複数の教育機関と連携し、職員が補助に付き、必要な支援を行うことができた。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で活動が中止となったものがあったが、積極的に教育機関等と連携していたと評価できる。</p> <p>今後も市民団体との連絡を密にとり、良好な関係を保つようお願いする。</p>			
	<p>▽ 公園施設利用に関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>①前田森林公園</p> <p>▼ 前田森林公園凸凹クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンカチ広場のための活動場所提供 <p>9回実施予定のところ、3回はコロナにより中止、1回は雨天中止で5回の開催。合計369名参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会他活動紹介チラシの作成支援 <p>▼ 手稲プレーパークの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレーパーク活動場所の設定支援。ただしコロナにより今年度は中止。 <p>▼ 当該公園で活動するボランティア合同事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪遊び場作成ボランティア(コロナで中止) <p>②山口緑地</p> <p>▼ 手稲区パークゴルフ協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場にて協会会員・同好会の交流大会(コロナで中止) <p>③明日風公園</p> <p>▼ 明日風フィオーレ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花壇管理ボランティアへの資材提供 	<p>コロナ禍により活動中止となった団体やイベントもあり当該公園を利活用している市民団体同士の横断的な情報交換の場はなくなったが、6月以降に再開した市民活動に対しては、良好な関係を保つとともに、資材の提供や活動場所の提供など、多くの支援ができた。</p>				

▽ 公園利用に関する相談業務

- ▼ カナールとポプラ並木の特徴的な景観から、個人やメディアによる写真や撮影のロケーションに利用されることが非常に多いため、利用目的を確認した上で撮影日時や車両進入の確認・調整などを行い、札幌市への報告等を適時行った。
- ▼ 持込イベントの場合、申込時に園内の危険個所や想定される事態の説明をし、安全対策がとれるようアドバイスを行った。
- ▼ 冬期は近隣教育機関が園内のクロスカントリースキーコースを利用しスキー学習を行うため、公園利用届による日程確認やレンタルスキー数の相談に対応した。

各種メディアへは問題なく対応できた。個人利用も利用前説明を徹底し、トラブルなく対処できた。

冬期のスキー学習は毎年参加校と回数が増えており、次年度以降は貸出可能なスキーを増加しての対応が必要と考える。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R元実績	R2計画	R2実績
① 前田森林公園 野球場	件数(件)	272	-	229
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	22.0	-	17.3
① 前田森林公園 球技場	件数(件)	113	-	109
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	18.8	-	14.1
① 前田森林公園 パーク ゴルフ場	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	33,788	-	23,358
	稼働率(%)	-	-	-
② 山口緑地 パーク ゴルフ場 西コース	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	11,209	-	9,391
	稼働率(%)	-	-	-
② 山口緑地 パーク ゴルフ場 東コース	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	30,673	-	23,406
	稼働率(%)	-	-	-
③ 星置公園 野球場	件数(件)	133	-	126
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	14.1	-	14.5
③ 星置公園 庭球場	件数(件)	270	-	235
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	11.7	-	12.2
④ 明日風 公園 庭球場	件数(件)	534	-	427
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	24.4	-	11.1

※稼働率は小数点第2位四捨五入

▽ 不承認 0件、取消し0件、減免 5,813件、還付40件

- ▼ 前田森林公園野球場 減免1件、還付11件
- ▼ 前田森林公園球技場 減免4件、還付1件
- ▼ 前田森林公園パークゴルフ場 減免2,605件
- ▼ 山口緑地西パークゴルフ場 減免906件
- ▼ 山口緑地東パークゴルフ場 減免2,275件
- ▼ 星置公園野球場 減免1件、還付10件
- ▼ 星置公園テニスコート 減免9件、還付8件
- ▼ 明日風公園テニスコート 減免12件、還付10件

コロナ禍により有料施設の開放日が4月20日から6月1日に変更となり、例年より42日分利用日が減少したことや利用者の自粛傾向から、各パークゴルフ場利用者数の合計は前年比74.2%、売上は前年度より約6,245千円の減収。その他の有料運動施設の合計は前年度より約759千円の減収となった。6月1日以降の施設開放の際には、コロナ対策に関する掲示物、屋内施設での食事禁止、長時間滞留を防止するため椅子・テーブルの一部撤去、アルコール消毒液、トイレ手洗い石鹸設置等を行い、利用者の感染防止対策に努めた。

A	B	C	D
新型コロナウイルスによる施設閉鎖の影響で利用件数は減少したが、利用者の感染防止対策を行うなど適切な利用に努めたと評価できる。			

<p>▽ 利用促進の取組</p> <p>公園利用促進のために以下の取り組みを行った。</p> <p>▼ 前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーク・ラン・ラリーカードの配布 ・ウォーキング用キロ数記載のポール設置 ・カナル清掃時市民ボランティアの募集 ・ウォーキングコースと冬期スキーコースのキロ数記載の園内マップを作成・掲示 また縮小版を配布 ・園内散策用自然情報の大型パネル作成・掲示 ・園内樹木の樹名板を増設 ・市民団体と協働で自然観察会、トンカチ広場を開催 ・園内植物残渣を使用したクラフト講習会 (クリスマスリース、ミニ門松づくり) ・クロスカントリースキーコース等の設営 ・スキーセット(通常・上位モデルの2種)貸出 ・クロスカントリースキー講習会開催 (初心者～上級者) ・スノーラフティングの実施 <p>▼各野球場・球技場・テニスコート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の日(令和2年7月24日)利用料金無料 ・野球場へのベースレンタル(無料) <p>▼各パークゴルフ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市都市公園条例の使用料以外に自主事業により独自の料金(一日券、半日券)を設定 ・半日券団体割引の導入 ・子どもの日(5月5日)は子ども料金 (中学生以下)無料 ・スポーツの日(7月24日)は利用料金を無料 ・ファミリーパックの設定(保護者1名につき子ども1名無料) ・スタンプカードによる利用者還元と、札幌市に協議の上、押印ポイントを増加 ・クラブセット貸出(子どもは無料) 	<p>ウォーク・ラン・ラリーカードは実施から7年目となり、利用者から公園利用時に目標が設定でき張り合いが出るなど高評価を得ており、また受付窓口での押印が、利用者との交流の場となりリピーター確保につながっている。レンタル品は更新により良い状態のものを貸し出し好評を得た。パークゴルフ場は券種の設定等により、利便性の向上とニーズ対応を図り、リピーター確保に努めた。今後も利用者のニーズに即したサービスの提供や利用案内に努める。</p>	<p>公園利用者への利用カードの配布・押印やレンタル品の更新など、利用者のモチベーションがあがる工夫により利用促進(リピーター確保)を図ったと評価できる。</p>
--	---	---

(6)付随業務	▽ 広報業務		A B C D
	<p>▼ 新型コロナウイルス感染防止対策に関する公園施設の対応を迅速かつ正確に利用者へ伝えることを目的として広報を行い、施設閉鎖情報や感染防止対策の発信、利用者の感染防止を考慮した取り組みに努めた。</p> <p>▼ インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページ アクセス数は119,461件となり、前年度比108.7%の閲覧数となった。 ・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。 ・Twitter ツールの特性を生かし、コロナによる施設開放状況や利用時のお願いを都度アップし、ダイレクトメールでの質問に即時返答するなど、公園の管理運営への理解を深めていただくよう努めた結果、記事の注目度を測るリツイート8,233回、「いいね」が39,563回となった。 またフォロワー数が昨年度4,454人から4,712人に増加、閲覧数も3,144,038件となった。 <p>▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和3年3月31日に公開した。</p> <p>▼ プレスリリースの活用 コロナ禍により、4～9月は開花情報等の告知を自粛したが、10月1日以降はプレスリリースを行い、媒体に取り上げていただく機会を増やした。</p> <p>▼ チラシの配布の中止 例年、子ども向け自然観察・環境教育系のイベント情報のチラシ配布を近隣教育機関やまちづくりセンター、商店へ行っていたが、大勢の集客につながる告知は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から利用者の安全面を考慮し中止とした。</p> <p>▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>今年度は、コロナ対策に関する問い合わせが多く、リアルタイムで情報提供ができるツールとして、質問への回答を含め、情報発信にSNSを有効活用できた。</p> <p>また、利用者が安心して来園できるよう、施設における感染防止対策に関する情報発信をこまめに継続したことが功を奏し、閲覧数の増加につながったと考える。</p> <p>メールフォームや、Twitterでの質問等に迅速に対応し、公園利用時の不安を取り除き、安心して来園できるよう取り組んだ結果、今年度も来園者の方より「ホームページを見ている」「SNSのファンだ」等のお声がけをいただいた。</p>	<p>インターネットやSNSを活用した広報活動に非常に力を入れていることから、閲覧数やフォロワー数が増加しており、利用者(ファン)の増加につながっていることを高く評価する。</p> <p>また、今年度は新型コロナウイルスにより公園利用が制限された中、SNSでのリアルタイムの情報発信・提供は特に優良な取組と考える。</p>

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A B C D
<p>①前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 展望ラウンジ レストラン(委託) 収入102千円 ▼ パークゴルフ場 レストラン(委託)※コロナにより閉鎖 ▼ 自動販売機(委託) 収入1,593千円 ▼ 売店事業(管理事務所) 収入293千円 ▼ 売店事業(臨時) 収入88千円 ▼ コインロッカー 収入25千円 ▼ 売店事業(バーベキュー) ※コロナにより閉鎖 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入166千円、利用者832人 ▼ 愛犬といっしょの公園お散歩講座 収入2千円 参加者21名 ▼ 門松作り 収入20千円、参加者10人 ▼ リース作り 収入22千円、参加者11人 ▼ クロスカントリースキー初心者講習会 収入136千円 参加者62人 ▼ クロスカントリースキー上級者講習会(全3回) 収入24千円 参加者1名 ▼ 歩くスキー簡単初心者講習会 収入33千円、参加者33人 ▼ 歩くスキー貸出 収入807千円、利用者2,474人 ▼ スノーラフティングボート 収入155千円、利用者310人 <p>②山口緑地西コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自動販売機(委託) 収入36千円 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入17千円、利用者84人 <p>③山口緑地東コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自動販売機(委託) 収入232千円 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入84千円、利用者419人 <p>④明日風公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自動販売機(委託) 収入511千円 	<p>自主事業は、コロナ禍により「ふじまつり」や「パークゴルフ交流大会」といった大型イベントが中止となった。バーベキュー広場閉鎖のためバーベキュー関連商品の売店販売と軽飲食の委託販売を取りやめ、収入は前年度比74.1%、1,511千円の減収となった。純粋な公園利用については、コロナ禍でも安心して楽しめる屋外ということもあり利用者自体は増加傾向にあり、冬期も屋外アクティビティを求める利用者ニーズに応えるため、感染防止対策を取りながらの冬期事業を実施した結果、スキーレンタルとスノーラフティングが好調。昨年度比136.8%、311千円の増収となり、過去最高の収入となった。</p> <p>全体としては減収だが、市民ニーズに応えることが自主事業増収につながることを実感した。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で自主事業が中止となったものがあつたが、それ以外は感染防止対策を取りながら実施したことは、利用者サービスに努めたと評価できる。</p>
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 第三者への委託業務は、市内企業に発注した。 ▼ 物品調達の際は、市内企業から購入した。 ▼ 北海道札幌高等養護学校、北海道札幌稲穂高等支援学校からの実習生を受け入れた。 ▼ 高齢者福祉施設の公園利用の際に、展望ラウンジ裏駐車場を開放した。また、体の不自由な方へは管理事務所駐車場をご利用いただき、車いすを貸し出した。また、管理事務所にスタッフ用の手話の資料を配置して対応した。 		<p>委託業務及び物品の調達を市内企業からしたことは評価できる。</p> <p>また、高等支援学校の実習生を職場体験として受け入れたことは、福祉施策として評価できる。</p>

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果			A	B	C	D
実施方法	・アンケートボックスの設置	<p>今年度は新型コロナウイルスの感染防止対策のため、休憩舎と展望ラウンジでのアンケート用紙設置については、筆記用具等の消毒管理が難しく管理事務所横休憩所のみ消毒対応し、それ以外は使用済み筆記用具を分ける形でアンケートを実施したが、不特定多数が触れ感染の恐れもあるためか例年より回答数が少ない中ではあるが、公園の総合満足度、スタッフの接遇満足度共に札幌市の要求水準を上回り、当コンソーシアム目標値も達成し、前年度を上回ることができた。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響でアンケートの総数は減少したものの、公園の総合満足度及びスタッフの接遇に関する満足度は、市の要求水準及び指定管理者の目標を上回っており評価できる。</p>			
結果概要	<p>上記アンケートの集計結果(回答者74人)</p> <p>▼ 公園の総合満足度:81.1% (札幌市の要求水準70%・当該公園の目標75%を達成するとともに前年度を上回った)</p> <p>▼ スタッフの接遇に関する満足度:86.0% (札幌市の要求水準80%・当該公園の目標85%を達成するとともに前年度を上回った)</p> <p>▼ 回答者属性 9割が札幌市内在住で、男女比は男性が7割、65歳以上が56.8%と最も多く、30代以下の回答がなかった。</p> <p>▼ 公園利用頻度 「週1回以上」が最も多く35.1%で次に「月1~2回程度」が27.0%で過半数を超え、リピーターの意見が多い結果となった。</p> <p>▼ 情報を得る手段 広報さっぽろが最も多い32.4%、次いで「その他(主な理由は近隣在住のため)」が21.6%となり、次いで「知人・友人から聞いて」13.5%、ネット関係が合わせて18.9%となった。</p>		<p>利用者からの意見については、称賛が多く維持管理や利用者対応が適切であったものの評価できる。</p> <p>苦情・要望については、今後も真摯に対応していただきたい。</p>			

<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>【称賛】 <公園について> ・きれいで安心して利用できます。 ・良く管理されています。 ・夏、冬、散歩が安全にできることと、土日やっていること。 ・雄大で手入れが良くて満足しながら歩いています。木にネームプレートがついているので楽しいです。 <スタッフについて> ・やさしい。作業中でも手を止めてしっかり答えてくれます！ ・駐車場の入口の段差を修理していただいた。 ・とても丁寧でいつも感じがいい。 ・あうたびに挨拶をしてくれます。</p> <p>【要望1】 犬のフンがある。スキーコースに犬が入らないようにしてほしい等、犬に関する不満や要望あり(同様多数)</p> <p>【対応1】 注意看板の設置、巡回時の声かけ、園内放送等を行っているが改善されないため、継続して注意喚起を行っていく。</p> <p>【要望2】 冬場、園内サインが雪面が白なので散策路など分かりにくい。各所にあると良いのでは。</p> <p>【対応2】 ご意見をいただいたのが冬期事業終了後だったため、次年度看板の地色や文字色に工夫し、雪面でも目立つ対応を予定しています。</p> <p>【要望3】 園内の施設に手摺り(高齢なため)があると助かります。</p> <p>【対応3】 階段やスロープ以外の手摺をさしていると思われますが、施設のどこに手摺をご希望か不明なため、必要な場所を調査し検討していきたいと思います。</p>	<p>寄せられた称賛のご意見では、園内管理への評価や、スタッフの接遇に満足いただけていることが窺え、スタッフ教育も合わせて評価いただいたことにより、今後も丁寧な対応を心がけていく。</p> <p>苦情・要望では、犬に関する苦情が例年どおり多く、巡回時の声かけや看板の設置等が抑止力にならないことが如実に表れている。しかし今後も園内放送の活用や声かけを継続し対応していきたい。</p>
-------------------------	--	---

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R2年度計画	R2年度決算	差(決算-計画)				
収入	124,420	125,769	1,349	利用料金収入について、新型コロナウイルスの影響が大きく、施設閉鎖やパークゴルフ場利用層の高齢者による利用を控える行動などから大幅な減収となった。 自主事業収入は、バーベキュー広場の年度内閉鎖、6月の大型イベント中止などでBBQ関連商品の売上やイベント収入が無くなったが、スキーレンタル備品更新がサービス向上及び集客につながり増収となった。 今後においては、自主事業への投資を回収するとともに、引き続き収支改善を図れるよう各施設の良い維持管理、利用者が安心できるコロナ対策等を含め、サービス向上を行う。 指定管理業務の支出増は、新型コロナウイルス感染予防対策として必要な措置を行ったためと判断されるが、今後も引き続き経費節減に努めていきたい。			
指定管理業務収入	120,795	120,166	▲ 629				
指定管理費	95,639	95,639	0				
利用料金	25,156	19,529	▲ 5,627				
その他	0	4,998	4,998				
自主事業収入	3,625	5,603	1,978				
支出	124,420	129,603	5,183				
指定管理業務支出	123,454	125,545	2,091				
自主事業支出	966	4,058	3,092				
収入-支出	0	▲ 3,834	▲ 3,834				
利益還元	0	0	0				
法人税等	0	7	7				
純利益	0	▲ 3,841	▲ 3,841				
▽ 説明							
▼ 利用料金収入は、新型コロナウイルス拡大防止の観点から、4月20日から5月31日の期間を閉鎖したため、その後も感染症の影響により、計画より5,627千円の減となった。							
▼ 自主事業収入は、冬季レンタル事業に力を入れたことで、計画より1,978千円の増となった。							
▼ その他収入は、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における新型コロナウイルス感染症拡大に関する確認書」による収入補填である。							
▼ 指定管理業務支出は、コロナ対策の衛生用品及び消耗品購入や、人員体制強化のため課長職の配置や、修繕不可となった作業機械の更新等に増加の影響もあり、その他の経費削減に努めたが、計画より2,091千円の増となった。							
▼ 自主事業支出は、収入増に伴う支出増及び事務局経費の増加で、計画より3,092千円の増となった。							
▼ 自主事業のうち収益性のある事業から生じた収入については、公益法人の特質上、利益の約半分を公益目的事業に繰り入れている。							

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		適	不適
▼ 安定経営能力の維持 ▼ 当コンソーシアムの代表団体である札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和2年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。また、他の構成企業についても前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。			
▼ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 情報公開請求はなかった。 ▼ 当公園の管理等に係るオンブズマンの現地調査はなかった。 ▼ 公園利用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼ 物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。			

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>前田森林公園・山口緑地・星置公園・明日風公園の管理運営に関しては、新型コロナウイルスの影響で4月以降施設の一部閉鎖や利用制限、消毒体制の確立など、例年になく対応が多々あったが、感染者も出ず、大きな事故もなく、安全に管理できた。今後も利用者の安全を第一に、園内管理と市民サービスの向上を図りたい。</p> <p>コロナ対策により4～5月は有料施設が閉鎖となり、6月以降も影響は大きく、利用者の自粛や市民主催のパークゴルフ大会の中止などもあり利用者減となったが、施設としては野球場やテニスコートの修繕、パークゴルフ場のコース整備見直し等を行い収入確保に努めた。</p> <p>しかし、利用料金収入は目標の25,156千円に届かず19,529千円となり、計画より5,627千円の減収となった。</p> <p>自主事業は、コロナによるイベントの中止や施設の閉鎖、また利用者の自粛等も重なり、全体的には前年度より減収にはなったが、冬期事業のみを見ると、コロナ禍における慎重な広報活動と、管理費の効果的な運用による備品更新、利用者のニーズや動向を予測したことが功を奏し増収になったことを評価する。</p> <p>前田森林公園凸凹クラブ、明日風フィオーレなど、市民協働の取組を継続して実施でき、また前田森林公園クリーンボランティアの活動も定着した。ただし新型コロナウイルスの感染拡大防止のため市民協働イベントが中止、また活動自体を自粛することとなった。しかしコロナ禍による活動自粛の中で、市民団体への継続的な活動の支援、良好な関係を維持できたことを評価する。</p>	<p>利用者の安心・安全を重視した施設管理（コロナ対策及び施設老朽化による危険個所の解消等）と、緑地管理（樹木調査を実施した高木管理、生物多様性等を視野に入れた芝地・草地管理）に努め、無事故を目標にするとともに、利用者ニーズに応えたサービス向上を図りたい。</p> <p>利用料金収入については増収を図るため、パークゴルフ場芝生のコンディション維持に努めるとともに、野球場やテニスコートにおいても備品の更新や施設修繕などの施設利用に係る品質向上、また、十分なコロナ対策をしていることを広く周知し、集客を図りたい。</p> <p>次年度はコロナに左右されない自主事業の実施内容の検討や、利用者ニーズを予測しそれに応える事業を実施することや、運営費等を総合的に精査判断し、増収を図りたい。</p> <p>コロナ禍による市民主体の活動をいかに支援するかを考え、今後も地域住民との良好な関係を維持し、更なる発展を実現できるよう努めたい。</p>

<p>園地管理では、雪割や融雪剤散布等を実施し、計画に沿った有料運動施設等のオープン準備ができたが、コロナにより6月1日となった。</p> <p>草刈頻度や作業区域の見直しによる野鳥営巣地の保護など自然環境の保全を図った結果、数種類の野鳥の営巣が確認でき、また10年以上ぶりに営巣が確認できた珍しい種もあり、生物多様性の環境づくりが進んでいる。</p> <p>全体として良好な景観の維持管理に努め、アンケートでは管理に対する称賛や励ましの言葉を多くいただいた。</p> <p>樹木については、今年度も日陰などの問題があった民有地沿いの樹木の間伐、危険木・枯損木の整理、高所作業車を使用しての高木(プラタナス・ポプラ並木)の整枝剪定、つどいの森の梅の剪定、フジの剪定等を実施し、利用者の安全を図るとともに、景観の維持向上を図ることができた。</p>	<p>樹林地草管理では、野鳥の営巣地となっている区域が多いため、引き続き草刈り管理計画の実施回数を減らすなど計画を見直し、野生動物に影響が出ないように努めると同時に、整備された印象を失わないよう維持管理に努めたい。</p> <p>また次年度実施予定の樹木調査の結果を受け、前田森林公園のシンボルであるポプラ並木や、その他枯損木の整理を中心とした樹林地管理を継続し、利用者にとって安全な公園環境の造成と景観の維持に努めたい。</p>
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>新型コロナウイルスの影響で公園の管理運営が難しい中、SNSを活用した積極的な情報発信・提供により、利用者が快適に公園を利用できるように配慮したことを特に評価します。</p>	<p>上記に記載した所管局評価を参照してください。</p>